

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

- (1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の職員とする。個人の場合は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

## 2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、スタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 招集完了時刻は、下記の通りとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技	90分前	60分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた者は当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (4) 招集の手順
  - ①競技者は出場種目の招集時間（点呼開始時刻）に招集所で点呼を受けて、競技者の指示によりスタート地点又はピットに移動する。
  - ②代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
  - ③棄権する者は、招集所（招集所に準備）に用意している棄権届に必要な事項を記入し、招集開始時間までに招集所に提出すること。
  - ④リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集開始時刻の1時間前までに招集所にオーダー用紙（招集所に準備）を招集所関係者に提出すること。また、招集は規定とおりに受けること。オーダー用紙提出後の変更はできない。怪我等の特別な理由がある場合は本部へ申し出る。大会のドクターかトレーナーの診察を受け変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。リレー種目でドクターかトレーナーの診察を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日に大会へ参加する場合、再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
  - ⑤リレーのエントリー以外から、リレー出場の場合はオーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。
  - ⑥混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者又は代理人が招集所の招集用紙に○印をつける。第2種目からは、現地で競技役員より招集（トラックは15分前、フィールドは20分前）を受ける。棄権するときも必ず現地で申し出る。

## 3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはユニフォームの胸部と背部につける。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部又は背部だけでもよい。
- (2) トラック競技の出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、パンツの右側後方につける。腰ナンバーカードは競技終了後、速やかに競技者係に返却すること。

#### 4 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。※順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cm

走高跳	男子	1m50 (練習) 1m75 (練習)	1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m78 (以降 3cm 刻み)
	女子	1m20 (練習) 1m45 (練習)	1m20-1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m48 (以降 3cm 刻み)
混成 走高跳	男子	1m25 (練習)	1m30-1m35 (5cm 刻み) 1m65-1m70-1m73 (以降 3cm 刻み)
	女子	1m10 (練習)	1m10-1m15 (5cm 刻み) 1m35-1m40-1m43 (以降 3cm 刻み)
棒高跳	男子	2m00 (練習)	2m00-2m20-2m40-2m60-2m80-3m00 (以降 10cm 刻み)
	女子	1m50 (練習)	1m50-1m70-1m90-2m10 (以降 10cm 刻み)

- (2) 当該競技に参加する競技者以外、競技場内に立ち入らないこと
- (3) スパイクのピンの使用は、長さは9mm以下。ただし、走高跳・やり投げは12mm以下とする。
- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (5) 長距離・競歩種目については給水を設けることがある。
- (6) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (7) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (8) 通信機器(携帯電話・トランシーバー等)、ラジオ、音楽プレーヤー等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。
- (9) フィールド競技において滑り止めを使用するものは、各自準備すること。
- (10) 抗議と上訴について
- ・競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者はジュリーに口頭で申し出ること。
  - ・抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督によりジュリーに申し出なければならない。
- なお、申し出る時刻は、当該種目の結果が変更された場合は、その結果が公式に発表されてから30分以内(同一に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内(同一に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

## 5 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝・決勝へのプラス進出者については、当該競技者の再開に同記録が複数出た場合、写真判定により0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は抽選とする。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者(0.001秒単位の時間まで同記録)は全員次のラウンドに進出できる。
- (2) 抽選は、写真判定室の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても当該競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。対象者はアナウンスに注意すること。

## 6 競技用具について

棒高跳用のポール・やり・円盤・ハンマーで持参した物については、検定の上使用を認める。ただしポール、ハンマーは現地で検定を行う。円盤・やりについては100mスタート地点用器具倉庫前で、競技開始1時間前に検定を行う。

## 7 表彰について

- (1) 表彰は行う。第3位までの入賞者に賞状を渡す。被表彰者は競技終了後、速やかに雨天練習場(招集所前)にて指示を受ける。
- (2) 表彰を受けることができない場合は、代理での表彰も可能とする。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。

## 8 待機場所について

- (1) メインスタンド、メインスタンド下通路、競技場内芝生及び競技場周辺とする。ただし、自動販売機裏階段下(喫煙所周辺)の場所取りはできない。
  - ※ メインスタンド及びバックスタンド内にテントやタープなどを設置しない。
  - ※ サブトラック(補助競技場)内に場所取りをしない。
  - ※ 前日及び開門前に場所取りを行うことはできない。また、待機場所については養生テープ・ビニール紐・ロープなどを使用すること。

## 9 県大会出場資格について

本大会において上位7位以内の競技者は、5月23日(金)～25日(日)博多の森陸上競技場にて開催される福岡県大会の出場権を得る。ただし競歩競技及び混成競技は上位5位までとする。

## 10 その他

- (1) 開会式・閉会式は実施する。ただし、状況により変更もありうる。
- (2) 雨天練習場での練習は禁止とする。
- (3) 生徒が競技場に入出入りする場合は100mスタート付近と100mゴール付近の2カ所のみとする。  
(正面玄関は通行できない)
- (4) 投てき競技に出場する選手は、競技役員の指示に従い、事故防止に留意すること。
- (5) 予選がなくなった場合には、決勝の時間に決勝のレースを行う。
- (6) 大会期間中競技場で生じた傷害や疾病は医務室で応急処置を行う。
- (7) 高体連の規定により、引率教師のない学校の出場を認めない。
- (8) 横断幕については、バックスタンド上段フェンス及び再度芝生上段フェンスに設置すること。競技場内下段のフェンス及びメインスタンド前面には設置できない。